

2004 年度防災教育チャレンジプラン最終報告書

記入日 2005 年 1 月 24 日

I 概要

実践団体・担当者名	防災一座（担当者：松野 博）
連絡先	電話 0593-31-2256
プランタイトル	ー乾パンだって美味しく食べたい！ー 提案「学校給食で乾パンを美味しく食べよう！」
目的	「食」を通じた身近な防災を具体的に提案すること。そのための調査と研究、教案づくり、モデル教室の実践とその提案。（子どもたちに乾パンの美味しい食べ方を伝え、自治体等と協働して備蓄食料を有効に消費するための提案をしたい。非常食をネタにした防災教育の実践例とアンケート結果などを報告し、だれもがマネできる「身近な防災」の知恵の発信と共有化を目指す。目的は実践を通じてたくさんの子どもの笑顔に会うこと!です。）
プランの概略	・ 乾パン料理のレシピ開発（定番／創作、他団体との協働開発） ・ 試食会とアンケート調査： 1・名古屋市東山学区連絡協議会「わくわく！ドキドキ！サバイバル体験！」協力 2・三重県総合防災訓練出展 3・菰野町社協「けやきフェスタ」出展 など ・ モデル教室 1：菰野町社協「菰野町親子防災クラブ」（防災体験教室とお料理教室） 2：楠町子ども会育成者連絡協議会「フィールドキャンプ」 3： 四日市市立三重北小学校防災教室 4：四日市市北河原田女性会防災教室 など ・ 関連調査と研究:「乾パンあれこれ」 * 行政との意見交換会 など。まず、子どもたちに乾パンなどを身近な食べ物と感じていただくことから始めたい。「食で始まる防災教育」はきっと大人も楽しい!
プランの対象と参加人数	・ 試食会：子どもたちを中心にした不特定多数、老若男女 名古屋市東山学区連絡協議会の皆さん、防災一座会員や関係者の皆さんなど ・ モデル教室 1: 親子（小学生）：40 名 ・ モデル授業 2：親子（小学生）、PTA、地域の皆さんなど：30 名 ・ モデル教室 3：小学生、親（保護者）、PTA、地域の皆さん、先生など：50 名 ・ モデル教室 4：主婦、親子、地域の皆さんなど：40 名 * 行政との意見交換会：行政関係者など：10 名（予定） など
実施日時	・ 6月13日 乾パン料理レシピの独自開発と試食会、会員へのアンケート ・ 7月20日 乾パン料理レシピの他団体との協働開発のアイデア相談など ・ 8月2日 モデル授業 1 菰野町社協「菰野町親子防災クラブ」 ・ 8月4日 試食とアンケート調査:「わくわく！ドキドキ！サバイバル体験！」 ・ 9月4日 試食会とアンケート調査：三重県総合防災訓練 ・ 9月4日 モデル教室 2 楠町子ども会育成者連絡協議会「フィールドキャンプ」 ・ 10月7日 モデル教室 3 四日市市立三重北小学校防災教室 ・ 11月14日 試食会とアンケート調査:「けやきフェスタ」 ・ 11月21日 モデル教室 4 四日市市北河原田女性会防災教室 *1、2月中の予定 四日市市防災対策課との意見交換会、成果発表会試食用調理会 など
主な実施場所	・ 6月13日 四日市市市民活動センター ・ 7月20日 四日市市市民活動センター ・ 8月2日 菰野町保健福祉センター「けやき」 ・ 8月4日 名古屋市東山小学校 ・ 9月4日 四日市市中央緑地公園 ・ 9月4日 楠町中央公民館

	・ 10月7日 四日市市立三重北小学校 ・ 11月14日 菰野町保健福祉センター「けやき」 ・ 11月21日 四日市市北河原田公会所 * 1、2月中の予定 四日市市役所/四日市市民活動センター、レストランなど	
連携した団体名、 連携の方法	連携団体の有無	有
	連携した団体名	* 中京防災システム株式会社 (→2003年11月「菰野町ボランティアフェスタ」にて) * 社団法人全国ビスケット協会 ・ 四日市市市民活動センター ・ カレーでナン マハラジャ * コミュニティレストランこらぼ屋 ・ 食育くらぶヘルシーまんま * FMよっかいち「エコ丸の環境通信」 ・ 菰野町社会福祉協議会 ・ 菰野町お料理ボランティアの皆さん ・ 名古屋市東山学区連絡協議会 ・ (特)レスキューストックヤード ・ 四日市市防災対策課 ・ 鈴鹿市防災安全課 ・ 三重県地域振興部防災チーム ・ 三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会 ・ 楠町子ども会育成者連絡協議会 * 鈴鹿市社会福祉協議会ボランティア連絡協議会防災部会 ・ 四日市市立三重北小学校 * 四日市市社会福祉協議会 * 高知市立大津小学校 * 循環者ファンド ・ 三重県建築士会三河支部 ・ 北河原田女性会 など
	連携したきっかけ・理由	・ 私たちにはないものをもってみえるので協力をお願いした ・ 協働による役割分担と相乗効果が期待されたから ・ 以前から面識があった ・ 異業種交流で新しい何かが生まれることを感じたから ・ いっしょに作業する楽しさを共に分かち合うため など
	連携団体へのアプローチ方法	・ 以前から面識があった ・ 友人を通じて紹介していただき目的を説明した ・ メンバーがその団体にも所属し活動していた ・ 出前講座の募集に応募してくれた ・ 取材や資料請求などをしていただき、チャレンジプランの活動をPR、間接的に広報にご協力いただいた など
	連携団体との 打合せ回数	各団体ともに趣旨説明や企画の打ち合わせ、準備打ち合わせ、振り返りとお礼などで平均 1~2 時間×5~7 回くらい
	連携団体との役割分担	・ レシピのアイデア相談と協働開発、試作など ・ 企画運営(主催者と講師、出展団体など) ・ 出展の調整 ・ 朝食の協力 ・ 食材の提供 ・ 広報の協力 ・ 会場の提供 ・ 資機材の提供、貸し出し ・ 当日のボランティアスタッフの派遣 など

Ⅱ プラン立案過程

プラン立案 メンバーの 人数・役割	団体内のスタッフ総人数	4 名
	外部スタッフの総人数	各回 1~2 名
	主なメンバーの 役職・役割	防災一座 理事会 松野博、野島隆、山川退三、松永直起 が 共同で検討して原案を作成、定例会などで、皆で相談して立案
プラン立案に要し た日数・時間	立案期間	2004 年 1 月 18 日 ~ 2005 年 1 月（現在も進行中）
	立案時間	（原案をもとに）各回 10 時間超
	上記のうち打合せ回数	各回 2 時間×4~5 回
プラン立案で 注意を払った点 工夫した点	・ 各回とも参加対象者や主催者、協働団体などが違うので、参加者のニーズを考えながら、主催者やスタッフ、協働団体などと、こまめに意見交換や打ち合わせを行ったこと ・ 参加者や主催者が主体的になれること ・ 私たちの考えを決して押し付けないこと ・ 全国どこでも、だれでもいつでもマネできる「身近な防災」の教案づくり、ネタづくり ・ どこまでを「乾パン料理」と言っているのか、なぜ、そこまでして乾パンを食べるのか ・ 各回の実践テーマ ・ 参加者のいいところをほめる場面を必ずつくっておくこと、意見などを否定しないこと	
プラン立案で 苦労した点	・ 大上段に「防災教育!」を持ち出さないこと、「難しいこと」などはしないこと ・ 「もったいない!」、せっかくだから美味しく食べたい、「もったいない!」、処分せずに有効に消費しようをできるだけシンプルに、自然に伝えること ・ 子どもたちの自由な想像力が発揮される場をいかにつくるか ・ 子どもたちが最初に持たろう防災のイメージが「楽しい!」、「美味しい!」、「おもしろい!」になるように、また、防災の入り口が少しでも入りやすいものになるようにと奮闘中	

Ⅲ 実践にあたっての準備

準備に関わった方 と人数・役割	団体内のスタッフ総人数	15 名
	外部スタッフの総人数	* 各回 1~10 名
	主なメンバーの 役職・役割	責任者 松野博（代表） 演出 松永直起（理事）、各連携団体 会場準備 防災一座 会員 渉外 松野、野島、山川、松永(理事会) 資料制作 松野、野島、山川、松永(理事会) 松永順子、野田延聖、海山くにこ(会員) アンケート 野島隆(副代表) 広報 防災一座 会員、各連携団体 小道具など 野島、松永(理事会)、福島泰子(会員) 各連携団体 事務局 松野(代表) 会計 山川退三（理事） 買出し 松野、野島、山川、松永(理事会) 松永順子、野田延聖など(会員) 各連携団体 レシピ開発 防災一座 会員 各連携団体 ML 担当 福田久穂(会員) など

準備に要した日 数・時間	準備期間	2004 年 1 月～ *2005 年 2 月
	準備総時間	各回 2~3 時間×10 回前後
	上記の内打合せ回数	各回 3~5 回前後
教育関係への 働きかけ	働きかけた教育関係者・ 機関名	四日市市立三重北小学校 四日市市教育委員会
	どのように働きかけたか	5 年生の担任の先生に相談させていただきました 四日市市防災対策課様を通じて相談させていただきました
	結果	10/4,7 にモデル教室を実践することができました *「教えてください」にご回答いただきました
地域への 働きかけ	働きかけた地域の人・ 機関名	四日市市、菰野町、楠町などの小学校の先生、社会福祉協議会、 子ども会、PTA、スポーツクラブ、自治会など
	どのように働きかけたか	新聞の取材やチラシ、口コミ、コミュニティーFM、自治会の 回覧板、先生方のネットワーク、各種 ML など
	結果	8/2 に菰野町でモデル教室を実践することができました 9/4 に楠町でモデル教室を実践することができました 10/4,7 に四日市市立三重北小学校でモデル教室を実践することができました 11/21 に北河原田町でモデル教室を実践することができました など
保護者・PTAへ の働きかけ	働きかけた保護者・ PTA組織名	- 四日市市立三重北小学校 5 年生の保護者 - 四日市市立三重北小学校 PTA - 北河原田町自治会
	どのように働きかけたか	先生方や地区センターから保護者の皆さんや PTA の皆さんに 回覧板などで広報していただきました
	結果	- 三重北小ではお母様方 7~8 名にモデル教室にご参加いただき、料理教室ではお手伝いをしていただけました - 北河原田町では地区の方 37 名にご参加いただきました
機材・教材の 準備方法	用意した機材・教材	例えば、10/7 三重北小学校モデル教室では - 機材：スクリーン、プロジェクター - ノートPC(会員の持込み) - 展示スペース用机、受け付け用机、いすなど - 教材：防災袋いろいろ詰め合わせセットなど - 展示資料「乾パンだって美味しく食べたい!」など - 調理器具一式 - 調理器具(防災一座の備品からにんにく潰し器など) - 乾パン - 食材一式 - 盛り付け皿など一式 - 防災袋と枕元 7 点セット(実物：会員の私物) など
	入手先・入手方法	- 学校の備品や備え付け - 三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会からお借りしました - 防災一座の備品、会員の私物 - 参考資料は四日市市の防災マップなどから印刷しました - 乾パンは鈴鹿市からご提供いただきました - 食材は前夜に買い出しました

	機材・教材選定の理由(なぜこの機材・教材を選んだのか)	- 映像を通じて事例を紹介するため - 実物を使って実習するため 「防災紙芝居」などを会員が自作して以前から独自講座などで使っており、具体例が出ていてわかりやすいものなので
参加者の募集	募集方法	例えば、10/7 三重北小学校モデル教室では - マスコミリリース(市政記者クラブ) - 知り合いの記者の皆さんへダイレクトメール - 新聞の取材の際に PR - 小学校から保護者や PTA の皆さんへご案内 - 独自のチラシ - 口コミ - コミュニティFM、地元ケーブルテレビ局 - 各種 ML、NPO のネットワーク - 友人知人、個人的なつながりやその紹介など * 自治会の回覧板 など
	募集期間	2004 年 7 月 ～ *10 月
	参加予想人数	10/7 三重北小学校モデル教室では 50~60 名
	実際の参加人数	50 名強
	募集方法の成功点	保護者の皆さんや PTA に先生からも直接参加を呼びかけていただけたこと 母親同士の「口コミ」はすごい!
	募集方法の失敗点	他の活動が急遽でき(台風の災害救援活動)、広報が遅れたため地域への PR が不十分だったこと。もっと早くできたら、より多くの参加が見込めたかもしれない。
準備で苦労した点・工夫した点		例えば、10/7 三重北小学校モデル教室では - 担任の先生との打ち合わせを密にし、8 月からさまざまな案を提案し、いっしょにニーズを考えて企画を立てた。 - この時期、三重県は台風被害に遭い、私たちも災害救援活動に参加していたので、開催日の決定がずるずる遅れてしまったが、関係者の皆さんに頻繁に現状を説明したことでご理解をいただき、10/7 に開催することができた。 - 食育くらぶヘルシーまんま様にも協働していただき、私たち防災一座の料理とあわせて当日大人が披露する料理のレパートリーの幅と数を増やした。 - 子どもたちの創作料理をサポートするために、急遽、10/4 に臨時教室を開いた。子どもたちにそのままの乾パンを実際に食べていただき、創作料理では「そのまま使っても、砕いて使ってもいい」ことなどを直接伝えた。 - そして子どもたちには「自分たちの乾パン料理」を 10/4~6 の三日をかけて創造していただいた。これにより子どもたちに時間的にも余裕ができ、思いもよらないアイデアが生まれ、班ごとにまとまりができたとのこと、いつもとは違う子どもたちがリーダーになったようだ。 「自分たちの防災袋をつくってみよう!」では、できるだけたくさんの実物を用意した。また、会員が実際に枕元に用意している防災袋も用意し、現在使っている本物を用意した。実物に触れることを重視した。 - 乾パンを使うため、子どもたちの中に小麦粉やゴマなどのアレルギーがある子がいないか確認した。 など

Ⅳ タイムスケジュール（プラン立案から実践終了までのスケジュールを記載して下さい。）

*自宅での作業などは除きます。センターは四日市市民活動センターのことです。

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2003 11月	きっかけ		*菰野町ボランティアフェスタ 2003 に 出展、試食会:「乾パンを美味しく食べよう!」実施
12月	23日 (仮)防災一座 忘年会で アイデアをおしゃべり、立案開始		
2004 1月	18日 定例会 応募を提案 27日 応募決定!	3、17日 FM よっかいち出演、アイデア PR 6、7、11、15、17、26日センターで作業	
2月	24日 臨時会	10、14、15、19、23日 センターで作業	
3月	10日 松野と野島、打ち合わせ 11日 定例会 14日 選考結果受け取り 20日マハラジャ金森様とレシピ 相談など 21日 交流会/世話人会の方針 相談 27日 金森とレシピの試作相談	2、14、23、24、25、26日センターで作業 29日 社団法人全国ビスケット協会様(東京)表 敬訪問	28日 第1回ワークショップ(東京)参 加
4月	12日 立案スタッフ打ち合わせ 14日 立案スタッフ打ち合わせ 29日世話人会 立案スタッフ打 ち合わせ	2、4、8、17、30日 センターで作業 4日 金森とレシピの試作 17日 FM よっかいちでチャレンジプラン PR	
5月	7日 実践計画書(案)、資金計画 書(案)仕上がり 11日 立案スタッフ打ち合わせ 15日 防災一座 総会 各計画 案決定 24日 理事会 計画打ち合わせ	12日 センターで作業 24日 センターで作業	
6月		1日 理事会 実践の打ち合わせなど 2日 防災一座 発足記者会見 チャレンジプラン PR 2日 四日市市防災対策課様と打ち合わせ 11日 食育くらぶヘルシーまんま様に趣旨説 明、協働依頼 11日 スタッフ打ち合わせ 12日 試食会の買出しと打ち合わせ (月内、13日のレシピの作成)	13日 乾パン料理レシピの独自開発と 試食会、会員へのアンケート
7月		8日 (特)レスキューストックヤード様と打ち 合わせ(名古屋 東山) 11日食育くらぶヘルシーまんま様との協働決定 12日 理事会 実践の打ち合わせなど 13日 乾パンのご提供、受け取り 19日 定例会 実践相談と新メニューの試食 21日 四日市市防災対策課様と打ち合わせ 23日 名古屋東山小学校の下見 23日 (特)RSY 様と打ち合わせ(名古屋東山) 25日 菰野町社協様と打ち合わせ、新作試食 30日 菰野町社協様と準備作業	20日 ヘルシーまんまさんと打ち合わ せ、乾パン料理レシピの協働開発のアイ デア相談など

8月		1日 マハラジャの金森様と打ち合わせ 1日 センターで作業 12日 理事会 実践の打ち合わせなど 14日 定例会 実践の打ち合わせなど 16日 三重北小学校と打ち合わせ ＊24、26日 センターで作業 31日 モデル教室2・楠町子ども会育成者連絡協議会様の打ち合わせ	2日 モデル教室1：菰野町社協「菰野町親子防災クラブ」（防災体験教室とお料理教室）実践 3、4日 試食会とアンケート調査：1・名古屋市東山区連絡協議会「わくわく！ドキドキ！サバイバル体験！」協力実践
9月		3日 会場の下見と実践の準備 13日 理事会 実践の打ち合わせなど ＊15、16、17日 センターで作業 21日 理事会 実践の打ち合わせなど ＊24日 北河原田女性会様と打ち合わせ開始 ＊25日 員弁町防災講座企画会議でPR 27日 三重北小学校様と打ち合わせ 27日 ヘルシーまんま様と打ち合わせ 30日 三重北小学校様、ヘルシーまんま様と全体打ち合わせ	4日 試食会とアンケート調査2・三重県総合防災訓練出展実践 4日モデル教室2：楠町子ども会育成者連絡協議会「フィールドキャンプ」実践
10月		3日 理事会 実践の打ち合わせ、買出し、防災グッズの借り受けなど 4日 三重北小学校様と打ち合わせ 6日 FMPortWave 録音出演 6日 実践の打ち合わせ、買出しなど 13日 防災グッズの返却とお礼など 14日 北河原田女性会様と打ち合わせ 16日 定例会 実践の打ち合わせなど 17日 FMPortWave 出演 23日 中間報告会 試食用お菓子づくり	4日 モデル教室3：三重北小学校防災教室事前教室実践 7日 モデル教室3：四日市市立三重北小学校防災教室実施 23日 中間報告会(名古屋)参加
11月		1日 理事会 実践の打ち合わせなど 3日 北河原田女性会様と打ち合わせ 8日 菰野町「けやきフェスタ」打ち合わせ 10、11日 センターで作業 13日 実践の打ち合わせ、買出しなど 18、20、29日 センターで作業 20日 実践の打ち合わせ、買出しなど 23、24日 カメラの〇〇で記録写真の整理作業 29日 四日市市防災対策課様と打ち合わせ	14日 試食会とアンケート調査3・菰野町社協「けやきフェスタ」出展実践 21日 モデル教室4：北河原田女性会防災教室実践 29日 四日市市防災対策課様に「教えてください」再相談
12月		8、15、19日 センターで作業 15日 ヘルシーまんま様にお礼など 16日 北河原田女性会様にお礼など 22日 四日市市防災対策課様と打ち合わせ ＊22日 FM よっかいち、こらぼ屋に試食の差し入れ 23日 スタッフ打ち合わせ	22日 四日市市防災対策課様に「教えてください」提出
2005 1月		1日 FM よっかいち出演、PR 8日 防災一座 新年会 スタッフ打ち合わせ 11日 四日市市防災対策課様と打ち合わせ 14日 理事会 会計決算の打ち合わせなど ＊26日理事会 最終報告書と収支決算書について	最終報告書と収支決算書の作成 12日教育委員会様からご回答いただく 19日防災対策課様からご回答いただく ＊1、2月中に四日市市との意見交換会を準備中 ＊2月の中～下旬頃に2/27 成果発表会の試食用メニューの調理日を準備中

・広報活動（ご案内の作成、メールなどでの情報発信、マスコミリリースなど）は、毎回行った。また、スタッフ振り返り（反省）なども折を見てMLや定例会などで行った

V－I・実践の詳細 【C. 総合的な学習の時間】(学習の準備段階から授業時間(コマ)毎に記載して下さい。)

事例・1) 10月7日 四日市市立三重北小学校防災教室(5年生)

フェーズ) 第3ステージ: 教案づくり ⇒ 第5ステップ: モデル教室3 とアンケート調査

テーマ) 総合学習「地震の話」「防災袋をつくってみよう!」「防災クッキング」 ⇒ 防災お料理教室の型づくり、乾パンを使った子どもたちの創作料理! など

コマ	日時	場所	学習内容	教師の支援・ 指導の留意点	児童・生徒の学習活動	評価の観点	使用機材・教材	苦労した点・工夫した点
1	10月4日 10:30 11:30 12:30 13:30	三重北小学校 校長室 開放教室	登校、先生方に挨拶 打ち合わせ、先生へのレクチャー 事前教室 ○7日はどんなことをするの? ○「防災袋をつくってみよう!」って? ○「乾パンを使った創作料理」って? 後片付け 下校	○7日に向けた事前教室(5年生) ・松野自己紹介 ・地震の話⇒東海・東南海・南海地震について ・防災袋⇒宿題:例えば、水、どうする? ・乾パン創作料理 ⇒実際にそのままの乾パンを食べてもらった ⇒「つぶして使ってもいいこと」など説明し 実演。班別に「なにをつくるか」、「必要な食 材は何か」など相談し「食材リスト」に記入 してもらい、6日夕方にFAXをいただいた。 *先生が相談を受けた場合を考えて各種資料を お貸しした。(子どもたちの発想の方が豊かで した。使わなかったそうです。) など 担任:福山先生、講師:松野(防災一座)	・NPO/市民活動、ボラ ンティアを知る。事例: 福山先生、地域のおじ さん(松野)の活動 ・四日市にも大きな地 震が起こる ・その時、生き延びるこ と。何を持って避難す るか、必要な物は何か ・乾パンを食べてみる、 どうしたら美味しく 食べられるか、 ・皆と相談し協力する など	・先生や講師の話を聞いて理解しよう としているか ・騒がしくなってもいい。子どもたちが 自分の意見や感想、イメージなどを持 ち、どんどん発表してくれているか ・講師は自分の考えを押し付けない ・子どもたちの意見を否定しない ・講師は子どもたちをほめること ・自分は、自分たちは何をしたらいいか 皆で相談して考えようとしているか ・講師も子どもたちも、へたでもいいか ら、丁寧に、まじめに取り組むこと ・子どもたちに笑顔があるか ・相談して助け合っているか など	地震の説明用資料(パウチボード) 防災袋グッズから水(9L)など 乾パン(実際に食べました) 「食材リスト」 デジタルカメラ 先生用の資料一式 など	・地震をどう伝えるか、どうイメージ してもらうか(四日市でも揺れる!) ・既存の「防災マニュアル」をもとに 実際に必要なものをどう想像して もらうか ・実物を用意したこと ・乾パンを実際に砕いたり、食べても らったりしたこと ・アレルギーの確認 *先生が子どもたちから相談を受けた 場合を考えて、各種資料をお貸ししま した。(子どもたちの発想の方が豊か でした。使わなかったそうです。) など
2	10月7日 8:00 9:00 9:20 9:45 10:05 10:15 10:25 10:30	三重北小学校 開放教室 (家庭科室で は準備ができ しだい、ヘルシ ーまんま様と 防災一座が調 理を開始)	スタッフ集合、会場設営など(開放教室、 家庭科室)、教室開催! ○「地震って何だろう?」防災紙芝居、 再現映像上映、頭を守れ実習 など ○「防災袋をつくってみよう!」 ⇒班別にグッズを選び袋につめる リーダーが袋を背負って班で登場。袋 から出しながら選んだ物を発表する ⇒講師コメント ⇒講師の袋と7点セットなどご紹介 *宿題:「避難所はどこ?」身近な避難所 を家族といっしょに地図で探そう! *マスコミの取材あり 休憩、教室移動	学校:福山先生、副担任の先生、教頭先生ら PTA、地域の方:お母様方ら 食育くらぶヘルシーまんま:鈴木、山本、田中 防災一座:松野、野島、山川、松永 「楽しみながら身近な防災について学ぼう!」 ○身近な防災への関心を高める ○災害に対する想像力を養う ○「自分の身は自分で守る」、知識と技術な どを習得する。(「だんご虫のポーズ」など) ○皆で助け合うことの大切さを学ぶ ○講師は各班のよかったところをほめること *防災一座は「防災袋グッズ」など後片付け など	⇒地震を知る、事例をみる、 イメージしてみる ⇒「もしも今地震が起こっ たら」を想像する ⇒「頭を守る」重要性を理 解してもらう ⇒各種防災グッズを実際に 手にとってみる ⇒班で相談する、役割を決 めて実践する ⇒他の班のよかったところ を知る。発表者に拍手する。 ⇒その班の視点や考え方を 大切にすること など	基本は上記に準じます。 ・知識や技術が正確に伝わっているか ・子どもたちの体が動いているか ・乗り始めた子どもたちはとてもパワ フルです。子どもたちの新しい引き出 しを開けるときです。 など 	・スクリーン、プロジェクター ・ノートPC(会員の持込み) ・展示スペース用机、受け付け 用机、いすなど ・防災袋いろいろ詰め合わせセ ットなど ・展示資料「乾パンだって美味 しく食べたい!」など ・防災袋と枕元7点セット(実 物:会員の持込み) ・配布用資料 ・デジタルカメラ ・救急箱 ・事務用品セット など	・だんご虫のポーズなど「頭を守る」 の実習は「体操のお兄さん、お姉さ ん」になった気持ちでやろう。再現 映像などの後なので、恐怖感や不安 などが残っている。ここで子どもた ちといっしょに体を動かして、心身 ともに「アイスブレイク」するよう に心がけよう。 ・知識と技術を正確に伝えること ・「難しいこと」はしないこと ・「ラップ」や「ゴミ袋」など身近な ものが災害時にはいろいろな役に立 つことを伝えること。 ・大上段に「防災!」と構えないこと。 「防災っておもしろい!」です。
3	10月7日 10:35 11:40 12:15 12:40	家庭科室 ランチルーム	○「防災クッキング」 乾パンを使った子どもたちの創作料理! 各班発表 「私たちの班は〇〇をつくります!」 調理開始! 調理終了! 各班発表、試食! ヘルシーまんまさん、防災一座も発表、 試食! アンケート調査、後片付け 給食と交流会 振り返り:2035±15~20年、主役は 君たちです!	○先生方、お母さん方、ヘルシーまんまさん、 防災一座が各班につき、安全面、衛生面に 十分に注意すること。 ○いろいろな食材を使うので、アレルギーを 確認すること。 ○役割分担や料理、盛り付け、配膳、後片付 けなど、子どもたちがする。大人はできる だけ手伝わないこと。 ○そのかわり、子どもたち皆が「なにかする」 よう、さりげなく声をかけるようにする。 ○スタッフは応急手当に備えておくこと。 ○食べること! ○	○想像力の発揮! ○工夫して料理する ○皆で助け合う ○乾パンを知る ○作品は皆で食べる ○作った人や食材に感 謝する ○発表者に拍手する ○「いただきます!」と 「ご馳走様でした。」 ○日頃はしない学習を することで、友だちや 先生、お母さんの「い つも見れない、いい ところ」を発見できる など	基本は上記に準じます。 ・手持ち無沙汰にしている子はいない か、楽しい声が皆から出ているか ・一生懸命に創意工夫をしているか ・美味しいか ・食材や作品を残していないか ・乾パンをどう使ったか、説明できたか ・時間内に料理できたか ・子どもたちの「いつもとは違った一面 や見たことのない顔」を引き出すこと ができたか ・先生のコメント「今までには見たこと のない子どもたちの顔を見ることが できた。」が嬉しい。子どもたちから 後日どんな反応があるか、楽しみ など	・調理器具一式 ・調理器具(防災一座の備品か ら「にんにく潰し器」など) ・乾パン ・食材一式 *盛り付け皿など一式 ・展示資料「乾パンだって美味 しく食べたい!」など ・配布用資料 ・デジタルカメラ ・救急箱 ・事務用品セット など	○どうしたら乾パンや非常食を身近な 食べ物に感じられるか、それは、実際 に食べてもらうことから始まると思う。 ○子どもたちのペースですすめること。 ○「防災は美味しい!楽しい!おもしろい!」  写真:食育くらぶヘルシーまんまさん 本当にありがとうございました。

V-Ⅱ・実践の詳細 【B. イベント】（イベント当日の準備から片付けまでを時系列をおって記入して下さい。）

事例・2) 11月14日 菰野町社会福祉協議会「けやきフェスタ」

フェーズ) 第3ステージ: フィールドワーク ⇒第6ステップ: 試食会とアンケート調査

テーマ) 定番料理(冬バージョン)は一般の方にも美味しく食べていただけるか、三重県建築士会三泗支部の皆さんとの協働 など

時間	場所	活動内容	指導者 講師等	使用機材・ 教材等	留意点	参加者の反応・声	苦労した点・工夫した点	スタッフ（団体内・外部）の人数・ 役割
7:30	会場： 菰野町 保健福祉センター 「けやき」福祉公園	集合、会場設営開始 準備できしだい調理開始	菰野町社協職員の皆さん けやきフェスタ実行委員会の皆さん 三重県建築士会三河支部の皆さん 防災一座会員	看板 間仕切り・展示用パネルセット 大工道具 椅子・机など（社協より） 椅子・机など（建築士会より） ガスコンロ・プロパンガス（社協より） 調理器具一式 乾パン 食材など一式 救急箱 事務用品セット 消火器 募金箱（台風：三重、兵庫、京都 地震：新潟県中越の支援） 配布資料セット 「ぶるる」くん など	○ 安全な作業、怪我の防止 ○ 火を使うので安全で作業しやすい、動きやすい（逃げやすい）厨房のレイアウト ○ 火器の配置 ○ お客様と対面して試食していただけるL字型の試食テーブルレイアウト など ○ 衛生管理 ○ 笑顔でお出迎え！ ○ ゴミの散乱防止 ○ スタッフも休憩すること など	○ 何が始まるのか、興味津々 ○ 調理の匂いにつられて待ちきれずにやってくる子どももあった ○ 建築士会の皆さんのバザー、親子木工教室などにお越しのご家族が立ち寄ってくれたこともあり、試食会は大盛況！特に揚げ乾パンは子どもたちに好評！主婦層にも（物珍さもあって？）人気があり、スープも完売！でした	○ 建築士会の皆さんのバザー、耐震・バリアフリー相談、展示、親子木工教室と私たちの試食会をつなげる、「来場者の流れ」をどうつくるかを意識した会場設営 など	三重県建築士会三河部会の皆さん（20～30人） 防災一座 （7人） 設営 全員 調理 4人 接客 4人 相談など 2人 記録など 1人 後片付け 全員 など
8:00		全体打ち合わせ 当日の各スタッフ・出展者・関係者用の法被の貸し出し、着用 搬入用車両駐車場へ移動						
9:00		試食会開始！ ○定番メニュー ・ 揚げ乾パン3種（ドーナツ、カレー、ココア） ・ ジャム付け、のり付け ・ コンソメスープ ・ 粉ミルク＆コーヒー ○アンケート調査の実施 ○資料の配布 *募金と支援金の呼びかけ ○「ぶるる」くん実演 ○廃油を利用した固形燃料試作 ○まかない食（豚汁）づくり ○スタッフ交代で昼食、交流 など						
12:30		完了！試食会終了						
13:30		○ 後片付け開始						
14:30		○ 撤去完了、会員は随時解散						
15:00		「けやきフェスタ」閉会						
15:30		○ 理事はテントなど後片付け						
16:00		○ 建築士会さん振り返り、松野が参加させていただきお礼						
16:30	お開き、会場撤収							
17:30	四日市市市民活動センター	展示用パネルなど後片付け 資料など整理		写真：ただ今開店準備中です。	○ 揚げ乾パン（ドーナツ・カレー）とジャム（いちご）の人気が高く、乾パンには「甘いものと油」がよくあうようです。 ○大人 乾パン・ストレートについては「美味しい」が多く、「まずい」は少数でした。つまり、「乾パンはばさばさして美味しい」という先入観とのギャップがあったことと、乾パンそのものが美味しくなっていることが重なり、「美味しい」が多くなったと考えられます。 コンソメスープが人気でした。当日は風が少し冷たかったこともあり、やはり大人には「あっさりしたもの、温かいもの」に人気がありました。	*親子木工教室で子どもの怪我（木のさくれが刺さるなど）があり、応急手当を行った。次回の木工教室からは作業用手袋を用意しておく必要を感じた ○ まかない食を建築士会さんと用意し、同じ鍋から食べたこと。こうやってお互いを少しずつ理解しながら、関係を育てていくことが大切だと思う また、 ○ 人とのふれあいの大切さを再確認 ○ 木材や乾パンなどの有効な再利用 ○ あの人のいいところを発見 ○ 屋外活動の気持ちよさを再認識 でき、防災一座には本当にいい経験になりました。子どもたちのたくさんの笑顔に出会えてとても楽しい一日になりました。 など		
18:30								
19:00	自宅	帰宅 ○ 電話で反省と振り返り ○ 11/21（北河原田）の打ち合わせ など *防災一座では後日あらためて振り返りを行った			写真：子どもたちはとっても元気！ あっという間にお皿はからっぽです。気持ちいい食べっぷり、お見事！	このような場を提供してくれた「けやきフェスタ実行委員会」の皆さん、菰野町社協の皆さん、三重県建築士会三河支部の皆さんに心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。		

V－Ⅲ・実践の詳細 【A. 素材】（メインとなる活動の準備から片付けまでを時系列をおって記入して下さい。）

事例・3）11月21日 北河原田女性会防災教室

フェーズ）第3ステージ：教案づくり ⇒第7ステップ：モデル教室4とアンケート調査

テーマ）防災クッキングの巣立ち！：「だれもがマネできる」の検証（女性会さんが「自分たちでやる！」⇒防災一座は講師とアドバイザー役、できる限り手を出さないこと） など

時間	場所	活動内容	指導者 講師等	使用機材・ 教材等	留意点	子どもたち、おば様たちの反応・声	苦労した点・工夫した点	スタッフの人数役割
*8:00 9:00	北河原田 公会所	○北河原田女性会さん仕込み開始 ○防災一座スタッフ地区センター駐車場 に集合、会場入り ○会場設営など準備開始！ ・ 段取りの確認 ・ 進行の打ち合わせ ・ 配布資料の確認 ・ 資料の展示 ・ 機材の確認 など	北河原 田女性 会の皆 さん 防災一 座	・地震の説明用資料（パウチボード） ・防災袋グッズ ・乾パン、アルファ米（50 食用）など 非常食いろいろ ・デジタルカメラ ・看板 ・机、いすなど ・ホワイトボードセット ・展示資料「乾パンだって美味しく食べ たい」など	○北河原田女性会の皆さんが 自分たちでします。防災一座 は仕込みなどには手も口も出 さないこと！		○手も口も出さないこと！ ○笑顔でがまんしましょう。	北河原田女性会の皆さん 12 名 調理 全員 進行 1 名 など 防災一座 4 名 （*講師、アドバイザー役など）
10:00		○開演、北河原田女性会 今井代表挨拶	今井		○笑って！ ⇒地図などを使って具体的に 説明すること ⇒難しい専門用語はできるだ け使わないこと！ ⇒参加者が、自分の体験談な ど、なにか話してくれたら聞 くこと ⇒実物を見ていただくこと ⇒どうして「ラップ」なのか、 スリッパなのか、笛なのか、 説明しながら取り出すこと！	⇒松野の拙い話にも真剣に耳を傾けて くれました。時々、松永さんからの合い の手が入って笑いがおこり、いい感じで 進めていただけました。	○大型パウチボード（A1 サイズ など）の資料を用意しました。	
10:15		○講演 「あなたの地震対策出来ていますか」 ・四日市で起こるだろう地震について ・防災袋と備蓄方法、ちょっとした工夫 ・防災袋と枕元 7 点セットのご紹介など （⇒伊勢新聞、東海ういざい新聞の取材）	松野、 松永	・防災袋と枕元 7 点セット（持ち込み） ・配布用資料 ・「ぶるる」くん ・調理器具一式 ・食材一式 ・救急箱 ・事務用品セット *募金箱（台風、地震） など	⇒実物を見ていただくこと ⇒実際に食べます！	⇒途中、おばあちゃんから「津波の体験 談」が入り、暫し、そのお話を伺うこと ができました。	○できる限り実物を用意しまし た。	
10:40		「防災食について」 ・非常食各種ご紹介とご説明など	野島		⇒実物を見ていただくこと ⇒実際に食べます！	⇒「分散して備蓄しよう、乾物入れと共 用しよう、お古のナップサックを使っ てもいいよ、100 円ショップに売ってい るよ。」などの提案もしながらご説明し たところ、「へえ～」、「なるほどねえ～」 などの声がありました。		
11:00		「家の耐震化について」 ・家のつくりと壊れ方 ・「ぶるる」くん実演 ・家を強くする耐震化方法など	野島、 山川		⇒わかりやすく説明すること			
11:20		○防災クッキングおよび試食会 「乾パンだっておいしく食べられる」 ・参加者の皆さんで調理！	北河原 田女性 会の皆 さん		○北河原田女性会の皆さんが 自分たちでします。防災一座 はアドバイスするだけで調理 などには手を出さないこと！ ⇒笑顔でがまん！です。			
12:40		・試食会、今井代表挨拶、「いただきます」			○美味しい！⇒もっと美味しく するにはどうしたらいいか、 皆でおしゃべりしてみよう。	写真：皆さん、いい顔しています！	○参加者やスタッフの皆さんが、 今日のことを家でお話してくれ るように、「お土産」分もつくり ました。	
13:30		・試食会終了「ごちそうさまでした」 ○後片付け ○振り返り			⇒しっかり後片付け！			
14:00		○記念写真、北河原田女性会の皆さん、お 疲れ様でした。			⇒集合写真を撮りましょう！			
15:00		○帰宅 ・後片付け、資料整理など		写真：当日のメニューです。上から 乾パンのり・ジャム付け、(*たくあん)、 青菜のおひたし、コンソメスープ、 アルファ米（味ご飯）、鬼まんじゅう、 カレー、豆腐ハンバーグです。（他にも 揚げ乾パンや乾パンチョコナゲットを つくりました。） 美味しかったです！ご馳走様でした！				



写真：北河原田女性会の皆さん、本当に
ありがとうございました。

VI 実践後

参加者への アンケート結果	○ 総じて乾パンは、「甘いもの」や「油」とよくあい、水気をよく吸収し、少量でもおなかをふくることが経験上わかりました。 ○ アンケートでも、定番では「揚げ乾パン・ドーナツ味(シナモンシュガー)、カレー味」、「チョコレート」の人気の子どもたちには高く、創作では「サンドイッチ(⇒マヨネーズ和えの具)」や「デザート系(⇒生クリームなど)」にも人気がありました。 ○ また、大人には「青菜のおひたし」や「鬼まんじゅう」など、どちらかと言えば「さっぱりした味」に人気が集まりました。 ○ 防災倉庫や防災用品に関しては「関心はある。どこにあるのかも知っているし、用意もまあしている。しかし、食べたことはないし、訓練もちょうと。。。だって自分(だけ)は災害に遭わないから大丈夫。」といった気持ちが微妙に出ているような気がします。 ○ アンケート結果は%表示で別紙にまとめ、資料として添付させていただきます。
成果として 得たこと	○「避難訓練の参加者へ提供する乾パンにレシピを添えたらどうか。」など、行政の方からは有効利用する方向のアイデアもいただいています。 ○自衛隊から「おもしろい！部隊にも伝えたい。」と資料請求があり、その後、伊賀上野の集まりでも話題になったそうです。 ○例えば、三重北小防災教室では、先生から「防災袋実習では本物を見ているときの子どもたちの目がちがった。あんなに真剣な目は初めてみた。」、お母さん方からは「あんなに小さい袋にいろいろ入るんですね。また教えてください。」などのコメントや感想をいただきました。また、料理教室には「私たち教師が今までには見たことのない子どもたちの笑顔や、あの子の思いがけない横顔や特技を見ることができた。よかった!」と嬉しい言葉をいただきました。そして後日、子どもたちから「感想文集」が届きました。私たちの「宝物」です。 ○感想文の中にもありましたが、防災に関心を持ち、乾パン(防災袋)を用意した子もいるようです。「今年のバレンタインはこれでいく!」と張り切っている女子大生もみえます。また、家族の話題にもなり、少しは「家族のコミュニケーション」のお役に立ったようです。 ○乾パンには「油」と「甘いもの」がよく合うことがわかりました。このことから、防災袋には、「①水、②乾パン、③焼き鳥缶(鶏肉の脂は低温で溶けるから)、④ジャム(ビタミン類)または蜂蜜(どちらも長期保存可)」をセットにして入れておくことを提案します。 ○また、吸水性が高く「うまみ」を逃がさないで、創作料理においては「つなぎの代わり」(豆腐ハンバーグ)や、「お汁を逃がさない」(おひたし)機能を持つことが経験上わかりました。 ○実施団体(学校や自治会、婦人会など)と行政、NPO が協働して「防災お料理教室」を開く場合のスタイルは、例えばテーマを「食を通じた身近な防災」とし、①実施主体(場の提供)、②行政(乾パンやアルファ米などの食材の提供)、③NPO(ノウハウやレシピなどの提供)等とすれば、お互いの力がよく発揮できると思います。また、これに「防災公演」や各種「防災ワークショップ」などを組み合わせれば、おもしろいプログラムが出来上がると存じます。 ○今回の挑戦にご理解いただいた自治体から乾パンや粉ミルクをご提供いただきました。 ○乾パンの賞味期限についてですが、当初ご提供いただきました乾パン(缶入り)の賞味期限が「2004 年 1 月」だったので焦りましたが、メーカーに問い合わせたところ、「缶入り乾パン(賞味期限：5 年)の場合、期限切れから 1 年数ヶ月は安心して美味しく食べられます。」とのご回答を得ました。(2 割強の猶予あり)これに基づいて主催者などにご説明し、ご了解をいただいて調理用(火を通すもの)等として使いました。また、2003 年 11 月に地元の防災設備会社様からご協賛いただいた新品の乾パンもあり、その支出をかなり減らすことができました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

	○「防災クッキング」は災害救援ボランティアによる長期避難所生活の支援の1つとして、被災者の気分転換や避難生活のアクセントになる可能性を感じます。「甘い香りに包まれて、お菓子を作りながら食べながら、別の時間が流れる中で自分の体験したことを話す、聞く」。簡単なお菓子づくりが一過性の楽しみだけになるのではなく、被災者自身のメンタルケアにもつながるのではないかと期待しています。 ○今まで防災に縁遠かった中高年主婦層や若いお母さん方はもちろん、「防災クッキング」はご家族で楽しんで参加していただけることがわかりました。また、「マイ定番料理」や「私のオリジナル創作料理」で「防災お料理コンテスト!」など、応用してもきっと楽しいでしょう。高知市立大津小学校さんからは中間報告会の際に「乾パンお料理コンテストがしたい!」と嬉しいお声がけをいただき、資料提供させていただきました。ありがとうございます。皆さんにもどんどん真似していただきたいと存じます。 ○今回の協働を通じて、異業種の他団体との連携も生まれました。ありがたいです。 ○会員間の新しい関係もでき、いいところをたくさん再発見することができました。 ○行政のデータや本音(給食への導入は大変難しいそうです。)も聞くことができ、別の角度から備蓄食を有効消費する提案を始めています。 ○「防災クッキング」は、「食を通じた防災教育」という新しいコンセプトを提案しています。そして、これまでの防災教育の教案とさまざまに組み合わせることで変幻自在に応用でき、身近な防災教育の総合的なプログラム案を作り出す可能性を秘めていると思います。						
成果物	（学習指導案、指導計画書、配布物、ワークシート、報告書、掲載記事等。データがあればデータファイルを貼付して下さい。） ⇒中間報告書に9月までの分を添付しましたので、今回は10月からの分、各種資料や新聞記事のコピー、写真、行政との意見交換会の基本データ「教えてください」の回答書などを添付します。また、現在、この報告書を補完するものとして「防災一座版報告書」を準備中です。出来上がりましたら提出させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。  ○三重北小学校の子どもたちから感想文集が届きました。私たちの「宝物」です。数人分をコピーして添付いたします。(写真：生徒「先生、このパフェ、どう?」、福山先生「なかなかいけるやん!」) ○定番料理のレシピなどは「防災クッキング(No.1: 乾パン)」などに、また、創作料理のレシピなどは実践資料として添付しました。(「豆腐ハンバーグ」や「青菜のおひたし」など、一度つくってみませんか。) ○「防災クッキング」は防災教育の入り口、「つかみ」にネタとして十分使えると思います。また、給食だけでなく、家庭科の料理実習や総合学習の教案として、防災食の有効消費方法としても有効です。皆さんにもどんどん真似して利用していただきたいと存じます。						
広報方法	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="477 1720 730 1803">広報した先</td><td data-bbox="730 1720 1385 1803">参加者募集時にマスコミリリースを流した先と同様</td></tr> <tr> <td data-bbox="477 1803 730 1886">広報の方法</td><td data-bbox="730 1803 1385 1886">マスコミリリース、メールやFAXでの情報発信などのご案内ができた際にどんどんおこなった。(目安は1ヶ月前、1週間前など)</td></tr> <tr> <td data-bbox="477 1886 730 1977">取材にきたマスコミ</td><td data-bbox="730 1886 1385 1977">中日新聞、伊勢新聞、読売新聞、毎日新聞、日本教育新聞 NHK津、東海けいざい新聞、四日市ホームニュース FMよっかいち・FMPortWave、CTY・ケーブルテレビ四日市</td></tr> </table>	広報した先	参加者募集時にマスコミリリースを流した先と同様	広報の方法	マスコミリリース、メールやFAXでの情報発信などのご案内ができた際にどんどんおこなった。(目安は1ヶ月前、1週間前など)	取材にきたマスコミ	中日新聞、伊勢新聞、読売新聞、毎日新聞、日本教育新聞 NHK津、東海けいざい新聞、四日市ホームニュース FMよっかいち・FMPortWave、CTY・ケーブルテレビ四日市
広報した先	参加者募集時にマスコミリリースを流した先と同様						
広報の方法	マスコミリリース、メールやFAXでの情報発信などのご案内ができた際にどんどんおこなった。(目安は1ヶ月前、1週間前など)						
取材にきたマスコミ	中日新聞、伊勢新聞、読売新聞、毎日新聞、日本教育新聞 NHK津、東海けいざい新聞、四日市ホームニュース FMよっかいち・FMPortWave、CTY・ケーブルテレビ四日市						

	広報された内容（掲載された記事・番組等）	・ 8月2日、9月15日 CTY ・ 4月17日、10月6日、17日、2005年1月1日 FM よっかいち ・ 10月8日、11月22日 伊勢新聞 ・ 8月14日、10月23日 四日市ホームニュース ・ 11月12日 日本教育新聞 ・ 12月8日 東海けいざい新聞 などです。記事のコピーを添付させていただきます。
	成功点	○ 日ごろから小まめに情報提供することでしょう。 ○ 市政記者クラブにはもちろんですし、知り合いの記者さん方へは直接メールなどでご案内を送っています。 ○ 昨年は災害が多かったこともあり、防災特集やスポットなどでも取り上げてもらうことができました。
	失敗点	○ せっかくだったのに、ビデオを録画できませんでした。 ○ 編集のため午前中の取材が多く、「防災クッキング」の時間と合わず、なかなか「画」が撮っていただけませんでした。 ○ 当日はどうしてもとだばたしてしまい、取材にお答える時間が短くなってしまいました。ごめんなさい。
全体の感想と 反省・課題	・ どこまでを「乾パン料理」と言っているのか、難しいところも残りました。 ・ ホームページの作成（レシピのアップ）、（出来上がった料理の）栄養成分分析、被災地での「お料理教室」など、計画はしましたが実際にはできなかったことも多いです。 ・ 「防災するのは当たり前」になるには、習慣性のようなものも必要なのではないかと思います。「急がばまわれ」でしょうか。こつこつと続けることが大切だと思います。 ・ お料理教室では、お母さんとお嬢さんが楽しそうに調理している姿がとても微笑ましく印象的でした。 ・ 試食会では、文句を言いながらも？しっかりたくさん試食する子どもたちが多くて微笑ましく思いました。また、試食した人たちの「へえ～」という声と思わずこぼれる笑みにこちらも頬が緩んでしまいました。それはスタッフにはとても嬉しい瞬間でした。 ・ 子どもたちの創作料理（即興で作った「ポテトサラダ」など）での想像力には驚かされました。何より、あの笑顔を見たらそれまでの疲れもどこかへ行ってしまいました。 ・ 今回の実践の整理と振り返りのために、また、今後の活動と情報発信などのためにも、「防災一座版報告書」をまとめたいと思います。 ○「もったいない」、せっかくだから美味しく食べたい、「もったいない」、処分せずに有効に消費しよう、私たちの動機です。思えば遠くに来ましたが、この気持ちは変わりません。 ○全国どこでも、だれでもいつでもマネできる「身近な防災」の教案づくり、「ネタ」づくりに挑戦し、子どもたちが最初に持つ防災のイメージが「楽しい」、「美味しい」、「おもしろい」になるように、また、防災の入り口が少しでも入りやすいものになるように奮闘中！ 写真：こんな防災教室があってもええんちゃう！	



	○皆さん、「三重で生まれたシャケ」が戻ってきました。長いような短いような、あっという間の旅でした。振り返ると、時間も資金も労力も物資もなく、限られた資源の中で、トラブルも多く、会の中での問題も絶えませんでした。たくさんの人たちに助けていただいて挑戦することができました。よかったです。皆さん、本当にありがとうございました。	
今後の予定	来年度以降の進め方	・ 3月に親子防災教室(乾パンとチョコレートでお菓子づくり)を予定しています。防災一座らしい活動の1つとして今後も「防災クッキング」を実践していきたいと思います。 ・ 今すぐ取り組みたい短期的な防災教育と、2035±15~20年を見据えた、中長期的な防災教育とを目指してこれからも皆で助け合いながら活動を進めていきたいです。
	是非実施してみたい取り組み	・ ホームページビルダーを購入しました。時間ができたらHPづくりにも取り組みたいです。 ・ 「防災クッキング」全国コンテスト! (乾パン部門、アルファ米部門、粉ミルク部門など) ができればなあ。

最後に、この報告書を書くにあたり、いろいろな助言や協力、文献や資料等を提供して下さいました先生方や行政の皆さんはじめ、一緒に活動する私の大切な仲間たち、友人たち、ご近所の方ほか、いろいろなかたちでお力を頂いた皆さんに深く感謝します。また、私の健康に気を配り、黙って温かく見守ってくれた、かけがえのない家族に心から感謝します。皆さん、本当にありがとうございました。

松野 博